

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
図画工作 I		岸 美沙	演習	1	前期
必修・選択	卒業要件	選択			
	資格要件	幼稚園教諭二種免許必修 保育士資格必修			
学習目標	<p>幼児の造形表現活動を活発にするため、造形表現活動の意義・目的や幼児の造形的発達段階を理解するとともに、基礎的な造形技法や造形表現に関する指導法を身に付ける。 特に、平面造形（「描く」や「つくる」、「造形遊び」）の指導について、基礎技術を身に付ける。</p>				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	幼児期の造形表現	幼児にとって造形表現活動の必要性・意義、目的、内容及び幼児期の造形的発達段階とその特徴			
2	色の基礎知識	色の基礎知識（有彩色・無彩色、色相、彩度、明度）			
3	鉛筆やクレヨンによる素描	鉛筆やクレヨンの濃淡やタッチによる表現の工夫			
4	マーブリング（墨流し）	墨汁や絵具のマーブリング法の実習、表現された形や色を利用して表す空想の世界			
5	デカルコマニー（合せ絵）	デカルコマニーの技法を活かした造形、それをヒントにした想像上の動物制作			
6	スクラッチ（引掻き絵）	色を二重に塗り、上の層をニードルで引掻き、下地の色を引き出しながら描く技法			
7	空想画	上記の表現技法を駆使し、テーマを決めて空想の世界を表現			
8	スパッタリング（霧吹き法）	霧吹きやブラッシング法などを用いた絵画			
9	フロッタージュ（擦り出し）	凹凸面のある硬い物の上に紙を置いて擦り出す方法を使った画面構成			
10	スタンピング（型押し）	スタンピングを使った平面構成			
11	フォトモンタージュ（合成写真）	合成写真の方法で、不思議な世界を表現			
12	いろいろな技法で描く 1 枚の絵	課題にそって、いろいろな技法を使って描く 1 枚の絵			
13	造形表現活動の進め方（1）	年間計画や日案等の指導計画、造形表現の望ましい環境作り			
14	造形表現活動の進め方（2）	教材研究の仕方、造形表現活動の指導案の作成			
15	模擬授業	指導の実際の体験			
参 考 書	<p>花篤 實他編「幼児教育法講座 新造形表現 理論・実践編」 三晃書房 2009 花篤 實他編「幼児教育法講座 新造形表現 実技編」 三晃書房 2009</p>				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	<p>図画工作セット（水彩絵具、水入れ、筆、クレパス、スケッチブック、セロテープ、カッター、糊、鋏、マーブリング絵具等）指定用具や材料を忘れないこと。 参考書を読んで出席すること。</p>				
評価の方法と時期	<p>出席・学習態度 20%、授業後提出された作品 40%、課題レポート 40%を資料とし、学期末に総合的に評価。</p>				